

令和3年度 研究のまとめ

研究主題 幼児期にふさわしい生活の在り方を求めて

(市立幼稚園、認定こども園共通)

研究副主題 やってみよう!の気持ちが続く環境構成と援助

(認定こども園にじいろの教育課題に応じた研究主題)

今年度は「幼児期にふさわしい生活」の実現に向けて、遊びの継続・発展を意識した保育を実践してきました。小グループでの事例検討会を設け、エピソード記録を取りながら、主体的・対話的で深い学びにつながる姿や、そこに向かうために必要な援助や環境構成について考えてきました。

戸外遊び
エピソード
記録より

5歳児 色水遊び

幼児期にふさわしい生活

主体的

対話的

～ 色の変化に興味をもって ～



夕方や、異年齢での過ごす時間でも遊びを行えるように



- ・“こんな色にしたい”と意思をもって遊ぶ
- ・“この花は何色になる?”と自然物の色の出方や、色の混ぜり方に興味をもち、面白さに気付く
- ・色の作り方、水の混ぜ加減を工夫しながら作る



自然物の色の出方や変化にさらに注目する姿



色の混ぜりに興味をもつ姿

- ・量を調整しながら水を使うことができるよう、タンクを用意する
- ・散歩先の土手や公園で集めた花や、自分たちで栽培した花を使う
- ・クラスで楽しんでいる“秘密基地”に作った色水や材料を取っておけるようにする

- ・色の変化が分かるよう、透明カップやペットボトルを用意する
- ・3色ほどのクレープ紙を用意、混ぜて遊んでみる

- ・数色の色を混ぜ合わせ、染め物を行う(半紙やTシャツ)



深い学び

身近な自然物を使った色水作りから、色の変化や不思議さに夢中になり、様々な素材を使って遊びが広がっていきました。子どもたちの気づきを保育者がその都度受け止め、好奇心を刺激する素材や遊び方を提示していったことで、「こうしたらどうだろう?」と予想したり考えたりしながら遊ぶ姿(“深い学び”)につながっていきました。

～ 遊びの継続を支えるための環境～ 【園庭】

作品や途中の材料をとっておける場所



次の日もできる!
あとでまたやりたい!



基地やおうちを作ることができる大型ブロック

「ここにとっておける」
見通し・安心感

友達の遊びの様子を目にすることで、
興味をもってやってみようとする

友達同士・異年齢で
刺激を受け合う

【5歳児：色水遊びの事例】にもあるように、職員間で連携を取り、盛り上がっている遊びを共有することで、朝や夕方など1日を通して継続して楽しめるように支えていくことが大切です。

～ 作るって楽しい！ ～

<制作>

- ・身近な題材“アイス”を取り上げる
- ・「何味のアイス？」子どもたちのイメージを探る
- ・作り方や手順をイラストで掲示する
- ・経験の差を考慮し、個別に援助する
- ・繰り返し作ることができるよう、材料を手の届くところに置いておく



<ごっこ遊び>

- ・作ったアイスを置く場所や持ち運ぶためのアイテムを用意する
→お店屋さんのイメージを膨らませるような環境
- ・十分にやり取りを楽しめるよう、お店の商品を増やす
- ・作ったアイスは、アイス屋さんごっこ以外でも、ままごとのアイテムとしても繰り返し遊ぶ



- ・試行錯誤しながら子どもたち自身で考えながら作る
- ・保育者の支えを受けて、失敗しながらも自分で最後までつくろうとする

深い学び



- ・他クラスにも「売りに行きたい！」作ったものを受け取ってもらうことで満足感をもつ
- ・友達と同じようなイメージをもち、やり取りをしながら遊びを楽しむ



子どもたちのやってみようという思いをくすぐる題材を探り、イメージを膨らませながら関わっていったことが意欲につながりました。また、作ったものが“アイス屋さん”というごっこ遊びにすぐに結びついていき、保育者や友達とやり取りする中で、さらに満足感を感じながら遊びを深めていました。

～ 遊びの継続を支えるための環境～ 【室内】

子どもたちの発達に合った扱いやすい材料

遊び方を段階的に知らせていく



素材の充実



思い立ったときに材料や道具がある



↑【乳児】牛乳パックのパーテーション
自分で形を変えておうち作り



↑【年中児】段ボールハウス
自分たちで段ボールを切ったり、色付けしたりして作っています

やってみよう！
今度はこうしてみよう



低年齢からいろいろな素材に触れ、楽しさを感じることが幼児期での遊びの深まりにつながりました。

面白いね！先生どうやるの？低年齢は保育者が遊びのモデル

今年度の研究を通して

遊びの継続・発展を意識した保育を行うことで、意欲的に遊ぶ姿や、試行錯誤したり考えたりしながら遊びを楽しむ姿につながり、幼児期にふさわしい生活に結び付くことが分かりました。今後も遊びや生活のつながりを意識し、0～5歳までの様々な年齢が生活する環境を生かした“にじいろらしい教育・保育”の質を高めていけるよう、研究を進めていきます。

次年度は新たなテーマで研究に取り組みます。

研究主題： 質の高い幼児教育の実現に向けて
～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～

研究副主題： 多様な教育・保育環境における幼児期にふさわしい生活のために

詳細については、次年度のにじいろ研究便りでお知らせします。